

ショパン

ポロネーズ第1番 嬰ハ短調 op.26-1

幻想曲 ヘ短調 op.49

ポロネーズ第7番 変イ長調 op.61

「幻想ポロネーズ」

ノクターン第2番 変ホ長調 op.9-2

ノクターン第4番 ヘ長調 op.15-1

ノクターン第7番 嬰ハ短調 op.27-1

ノクターン第14番 嬰ヘ短調 op.48-2

ノクターン第15番 ヘ短調 op.55-1

ノクターン第18番 ホ長調 op.62-2

ポロネーズ第6番 変イ長調 op.53

「英雄ポロネーズ」

孤高の巨匠が魅せるエレガンス

ミハイル・プレトニョフ
ショパンを弾く！
ピアノ・リサイタル

MIKHAIL
PLETNEV
PIANO RECITAL
Chopin

ご予約・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス 10:00AM-5:00PM
月曜休※祝日の場合翌日 0798-68-0255

2023 9/16 (土) 2:00PM開演 (1:15PM開場)

A5,000円 B4,000円 C3,000円 D2,000円 (全席指定・税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

© Rainer Maillard / DG

一般発売
3/19(日)

チケット
予約

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>
●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 3/17(金)

●イープラス <https://eplus.jp>



兵庫県立
芸術文化センター

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター
[3/21(火・祝)より、残席がある場合のみ]

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 協力：KAWAI



頂点を極めた孤高の芸術家 「プレトニョフのショパン」

現代のカリスマ、ミハイル・プレトニョフ。21歳でチャイコフスキー国際コンクールに優勝し、ピアニストとして世界の檜舞台に躍り出た。それから45年の時の中で、かくも色濃く、芸術道を歩む人も稀少ではないか。指揮者として自身のオーケストラ、ロシア・ナショナル管弦楽団をたちあげ国際的に活動を展開。作曲・編曲家としても名を馳せ、充実した時を過ごしていたかと思えば、突然のピアニスト引退宣言。しかし、ピアノ「シゲル・カワイ」との幸福な出会いで復帰。そして昨年、30年以上にわたり精魂を傾けたロシア・ナショナル管を離れざるをえなかったが、新たな志をもってラフマニノフ国際管弦楽団を創設した。物静かで、時おり柔らかな笑顔を見せる巨匠の心は、常に熱い。

芸術文化センターでは、これまでスクリャービン、グリーグ、モーツァルト、ベートーヴェンを聴かせてくれたが、いずれも気品ある美音と透徹したテクニック、例のない表現力で絶品であった。そして、今回はオール・ショパン。幻想曲が、ノクターンが、英雄ポロネーズが、多才で多彩なプレトニョフの手にかかるとうどう表現されるだろうか。ぜひ生(ライブ)で体感していただきたい。さあ、驚きに満ちた時を一緒にしよう。



2019年芸術文化センター公演より

ミハイル・プレトニョフ (ピアノ)

Mikhail Pletnev, Piano

プレトニョフは、ピアニスト、指揮者、作曲家、とそれぞれの分野において並外れた才能を発揮し、世界中の観客を魅了している芸術家である。1957年、音楽家の両親のもと、ロシアのアルハンゲリスクに生まれ、幼少の頃から音楽に非凡な才能を示す。カザンで育ち、13歳で中央音楽院、1974年モスクワ音楽院に入学。ヤコフ・フリーエール、レフ・ヴラセンコに師事した。1978年、21歳でチャイコフスキー国際コンクール・ピアノ部門においてゴールド・メダル及び第1位を獲得。これにより早くも世界的に認められる存在となった。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。1988年、ワシントンで開かれた先進国首脳会議で演奏したことが、ミハイル・ゴルバチョフとの関係を築き、その後彼が自由な音楽活動を行う契機ともなった。1990年、ロシア内外の個人、会社、財団等の支援によって資金を得、オーケストラ、ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を創設。彼の舞台芸術ビジョンに賛同して、国内の多くの優れた音楽家たちがこのRNOの始動に参加。そして彼のリーダーシップのもと、RNOは数年のうちに世界有数のオーケストラとして認め

れるようになった。客演指揮者としてもロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする数々のオーケストラを指揮。2011年2月13&14日にはドレスデン空爆記念日演奏会にてドレスデン国立歌劇場管弦楽団を指揮し、ブラームスの「ドイツ・レクイエム」を演奏した。またボリショイ・オペラにおける「スペードの女王」の指揮で大成功を収めているほか、コンサート形式のオペラ指揮も行っている。2015年より東京フィルハーモニー交響楽団の特別客演指揮者に就任。作曲家としては、“Classical Symphony”、ジャズ組曲、ヴィオラ協奏曲、ほか数多くの作品を発表し、近年ではスティーヴン・イッサーリスのために書いたチェロ・ソナタが大成功を収めている。2022年、プレトニョフは新たなオーケストラ、ラフマニノフ国際管弦楽団(RIO)を創設、東西ヨーロッパの優れた音楽家がスロヴァキアのブラティスラヴァに集まり、最初のレコーディングを行った。今後多くのレコーディング・プロジェクトおよびコンサート・ツアーが予定されている。



© Mat Hennek / DG

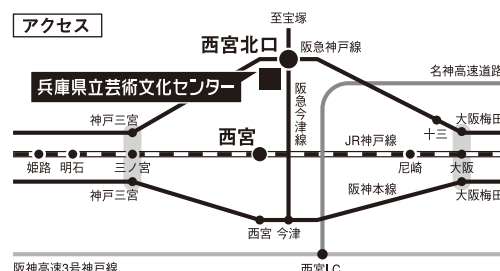
<チケットご購入のお客様へのお願い>新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

- ※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。
- ※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。
- 取扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。
- ※新型コロナウイルス感染症陽性の方、37.5度以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
- ※マスクを着用されない方はご入場いただけません。
- ※やむを得ない事情により、公演の中止、曲目などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご来場前にウェブ
サイト掲載の＜当セ
ンターをご利用の
お客様へ＞をご確
認いただきますよう
お願いします。



アクセス



阪神高速3号神戸線

西宮IC

○阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

○JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。